

秋田県能代市立  
東雲中学校

秋田県能代市立  
向能代小学校

秋田県能代市立  
竹生小学校

秋田県能代市立  
朴瀬小学校

# 魅力ある学校づくり 調査研究事業



小・中学校の9年間を見通した楽しい学校づくり



## 東雲中学校区の4校が連携した 魅力ある学校づくり調査研究事業

現在、小学校及び中学校において、学習や人間関係に不安を抱えるなどの理由から、不登校になる児童生徒は、全国でおおよそ12万人を数え、平成25年度からは増加傾向にあります。

そこで、文部科学省国立教育政策研究所は、不登校の未然防止を推進するため、平成22年度から、都道府県教育委員会と連携した「魅力ある学校づくり調査研究事業」を実施してきました。第Ⅲ期の取組として、平成26年度からの2年間は、秋田県教育委員会及び能代市教育委員会が委嘱を受け、東雲中学校を拠点校に、向能代小学校、竹生小学校、朴瀬小学校の4校が連携して事業を進めてきました。

## 2年目の取組

本事業では、児童生徒が新たに不登校にならないように、いじめを生まないように、児童生徒の実態を捉え、「心の居場所」となる学校、「絆づくりの場」となる学校、すなわち児童生徒にとって「魅力ある学校」づくりを目指して、4校が連携して取り組んできました。

2年目となった27年度は、小・小連携及び小・中連携を更に深め、4校の共通実践を徹底し、小学校から中学校への接続が、一層円滑になるような取組を進めました。また、児童生徒がより主体的に学校生活を送ることができるように、学校行事・特別活動に児童生徒によるPDCAサイクルを取り入れました。

# 取組の実際

## 1 授業改善の継続 ～成就感の実感できる授業づくり～

### ●導入

- ・興味・関心・意欲を高め、見通しをもたせる課題提示
- ・授業のゴールの提示

### ●授業の中で

- ・互いに認め合う場面の設定
- ・認めて、褒める教師の言葉かけ

### ●終末

- ・定着を図る時間の確保
- ・児童生徒の振り返りの充実



興味・関心を高める導入



ゴールを目指して教え合い



主体的に「話す」



生徒によるまとめ

### 数学科

## 振り返りの達人

どんなことを聞こうかな？

- 分かったことやできるようになったこと
- どんな見通しをもって取り組んだか
- 自分や友だちのがんばり
- その他の感想

### これも書いたら振り返りの達人

- 前の学習とのつながり
  - ・似ているところ
  - ・違うところ
- 生活の中で役に立てられそうな場面
- 見通しの方法がどうであったか (方法の振り返り)
- 見通しを立てたことがうまくいったか (結果の振り返り)

観点に沿った振り返り

しのめちゅうがつく  
東雲中学区でめざす

しゅたいていき まな  
**主体的に学ぶ**  
すがた  
**子どもの姿**

**書**く

じぶん かんが か  
**自分の考えを書くことができる。**

**聞**く

とも だち せんせい はなし き  
**友だちや先生の話聞くことができる。**

**話**す

じぶん かんが とも だち せんせい  
**自分の考えを、友だちや先生につたえることができる。**

主体的に学ぶ姿 4校の全教室に掲示

## 東雲ブロック「学習の約束」～身に付けたい学習習慣～

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中学校
① 始業時の態度	椅子に座って先生を待っている。	座って学習の準備を確認する。		その日の学習課題に沿って自主学習に取りかかる。			予習や復習に取りかかる。
② 用具の位置	本は、机の左。ノートは、右。筆入れは、前方。						
③ 始めのあいさつ 終わりのあいさつ	「気をつけ。これから～の勉強を始めます。 (はい) 礼。」 「気をつけ。これで～の勉強を終わります。 (はい) 礼。」			「気をつけ。これから～の学習を始めます。 (はい。) 礼 (お願いします。)」 「気をつけ。これで～の学習を終わります。 (はい。) 礼。(ありがとうございました。)」			
④ 座り方	両足を床に付け、背筋を伸ばす。机と腹の間は、握りこぶし1つ分空ける。						
⑤ 挙手の仕方	他の人が話し終わってから挙手する。挙手のときには、右手をピンと伸ばして挙げる。 (「はい」は、1度だけにする。)						

# 2 学校行事や特別活動などに主体的に取り組ませる工夫 ～児童生徒によるPDCAサイクル～

## ①学校行事・特別活動の前

一人一人に見通しと目標をもたせる

## ②学校行事・特別活動の実施

児童生徒が主役になり、目標に向かって活動できるように支援する

## ③学校行事・特別活動の後 児童生徒の振り返り

→学年で分析する  
→児童会・生徒会で分析する

運動会

名前

学級のめあて  
最高の思い出を作るために、6年生に任された仕事に取り組もう。  
今までの自分をこえるために積極的に練習に取り組もう。

自分のめあて  
副団長として下の学年に声をかけ、まとめる。  
自分の記録を7秒でも速くするために、たくさん取り組む。

ふりかえり  
副団長として下の学年をならべさせたり、声をかけたりして、自分より出ないくらい、大きな声をひかえ所での気配を出せるようになったです。  
練習に、何度も何度も取り組むことはできなかつたけど、ほんの少し足が痛くても、800メートル走の練習をした。800メートル走の練習は、いつも9位で、たつと、着替は7位で、去年のタイムより10秒以上速くなりました。

これからがんばりたいこと・来年への提案  
修学旅行でいろんな仕事があると思うので、話をきくと聞いたりして、がんばりたいです。  
今年のはじめのころの足のとき、下の学年が得意な、てんまとして、副団長がめいめいおこなわれてたので、次の副団長や副団長にならない人は、まじめな年からは、責任を任せてほしいです。



運動会



学習発表会

学習発表会

6年 名前

学級のめあて  
おもしろいけしきにして、一番思っに出て来る発表会にしよう。また、みんなて協力して成功させよう。

自分のめあて  
リラックスして楽しみながら、学習発表会を成功させてい、また、す、と同じ使なめて、意欲な変化と見せたいようにしたい。  
せりげなくさんあやうと、かたはらててふたね。

ふりかえり  
前半はドキドキで少し固まっていたけどよさこいの後はリラックスしてきてよかったで、受けはその人になりきて最後はてりきれたのでよかったです。  
1人でたのみのせりげがあるが、よくかたはらててふたね、かたはらててふたね、かたはらててふたね、かたはらててふたね。

これからがんばりたいこと・来年への提案  
僕もそう、あか、きんろうして笑顔が少なくなりましたのでニコニコで取り組むのも、楽しいげりにできるとおもいます。  
おのめあてとすてたふたね。

## マラソン記録会



マラソン記録会

名前

マラソン記録会のねらい  
☆記録会に向けてがんばることで、今の自分にできる全力で走ろうという心と体力を育てる  
☆今年での自分おれ体力を高める

自分のめあて  
去年の7分10秒という記録をこすことす。そのために時間を身につけて、平日も走りたいです。  
1周57秒を目標にして最後まであきらめず走り、7分を切れるようにがんばりたいです。  
17秒かえらる、7分10秒の、3分10秒。

振り返り  
マラソン記録会では、7分10秒という記録よりも速く走ることができたと思います。練習のときはなかなか7分を切ることができなかったけど、春で1周外物のペースで6分4秒という記録を出せたので、喜んでます。記録が速くなるとよかったです。  
これからがんばりたいこと・来年への提案  
マラソン記録会では、みんな全が走ることができました。走っている人にも、たくさん応援することができました。地域のみならずお家の方の応援がはげしくなりました。体力づくりのためにもこれからも走りたいてます。  
おのめあてとすてたふたね。

## 雪中綱引き



## 雪中綱引き・強歩大会を成功させよう!

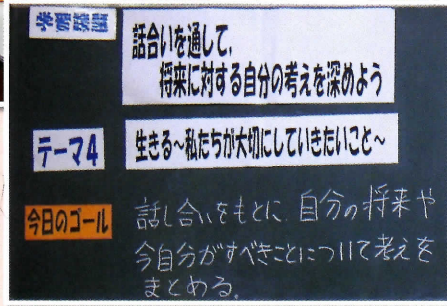
学級の目標  
最高の3大行事楽しんで参加しよう

自分の目標  
最高の3大行事楽しんで参加しよう

雪中綱引き・強歩大会を振り返って  
雪中綱引きでは、見事な記録を達成することができました。しかし、雪の降り止んだ瞬間には、お疲れの表情がみられました。強歩大会では、強歩大会に慣れず、途中で休憩してしまいました。大雪と雪がこぼれ下り、途中で休憩の時間を取る必要がありました。雪が止んだ瞬間には、お疲れの表情がみられました。大雪と雪がこぼれ下り、途中で休憩の時間を取る必要がありました。雪が止んだ瞬間には、お疲れの表情がみられました。大雪と雪がこぼれ下り、途中で休憩の時間を取る必要がありました。

来年の雪中綱引き・強歩大会に向けた提案  
おのめあてとすてたふたね。

## 小・中連携の実際



### 総合的な学習の時間合同発表会

- ・各校の職場体験の報告
- ・テーマを設け、小・中学生混合グループでの話し合い（異学年交流の効果）



## 小・小連携の実際

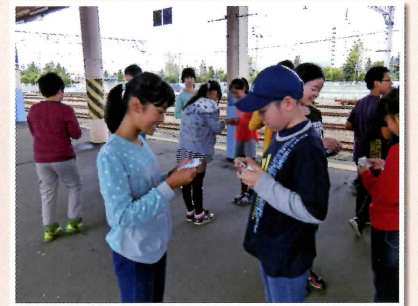
### 3校合同職場体験



向能代小学校・竹生小学校・朴瀬小学校の児童が合同のグループで職場体験

- ・3校の児童が交流する機会
- ・特別活動における連携の強化
- ・小規模校は職場選びの幅が広がる

### 竹生小学校・朴瀬小学校 交流授業



小規模校の竹生小学校と朴瀬小学校の合同授業

- ・合同のレクリエーション
- ・合同の音楽授業
- ・合同の修学旅行
- ・合同の水泳授業 などが行われた

### 成果

- 9年間を見通した指導を意識することができるようになった。また、中学校への接続が今まで以上にスムーズに行うことができるようになった。
- 3校の児童が交流を繰り返すことで、一緒に東雲中学校で生活するという気持ちが生まれ、仲間意識が育ってきている。
- 中学校入学後の人間関係形成の助けになっている。

# 東雲中学校区の「課題」と「目標」

## 課題

### 自立心の未熟さ

- 他への依存傾向が残っている
- 「授業に主体的に取り組んでいる」と感じている児童生徒が少ない
- 「授業がよくわかる」と感じている児童生徒が少ない

### 自己有用感、自尊感情の未発達

- 集団の中で自分の居場所を見いだせない
- 人間関係づくりに不安を感じている

## 目標

### 小・中連携及び小・小連携を通じた授業改善

- 学習課題を達成した成就感を味わうことができる授業づくり

### 児童会・生徒会活動などの交流活動を通して児童生徒相互が触れ合う活動の充実

- 目標を達成した成就感を味わうことのできる振り返り

- 自己有用感、自尊感情の醸成と、充実した学校生活の実現
- 自信をもち積極的に自己を高めようとする児童生徒の育成

## 2年目の取組

分かる授業、児童会・生徒会活動、小・中連携及び小・小連携を通じ、協働して成し遂げる喜びや楽しさ、責任を果たす満足感を実感させる。

- 1 授業改善の継続 ～成就感を実感できる授業づくり～
- 2 行事や特別活動などに主体的に取り組ませる工夫 ～児童生徒によるPDCAサイクル～
- 3 児童生徒と共に考える魅力ある学校づくり ～児童生徒が主体的に考える機会の設定～

「魅力ある学校」を考える集会



みりよくある学校をつくらう



みりよくある学校って何？



勉強が分かって楽しいと思える学校

友達と協力して、きずなをつつていくことのできる、いじめのない学校



生徒会による「主体的に学ぶ姿」の提示

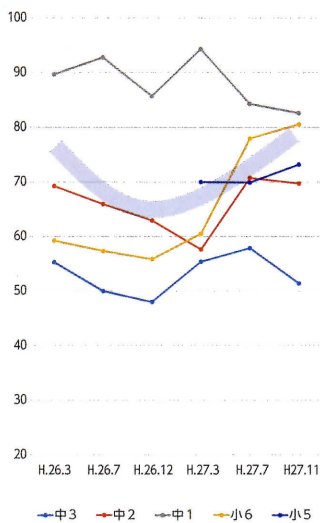
## 4 共通実践徹底のために

- 相互授業参観
- 小・小授業交流
- 学区合同授業研究会
- 「学習の約束」の活用
- 小・中合同授業研究会
- 東雲ブロック会(学区内合同研修会)
- (リーフレット1年目の取組参照)

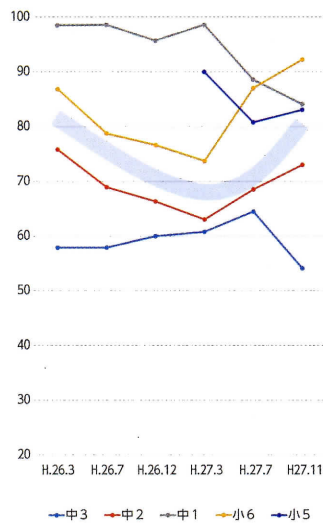
# 2年間の生活意識調査の変容

## ○「あてはまる」と回答した児童生徒の割合の推移

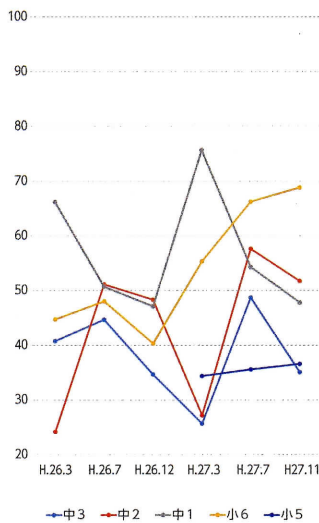
ア 学校が楽しい



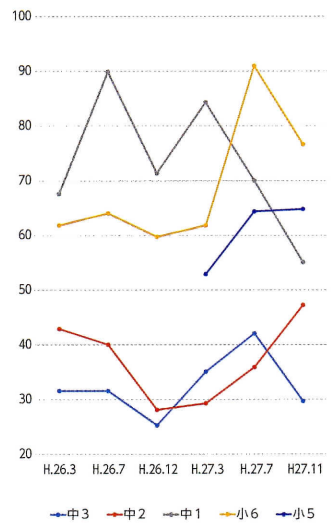
イ みんなで何かをするのは楽しい



ウ 授業に主体的に取り組んでいる

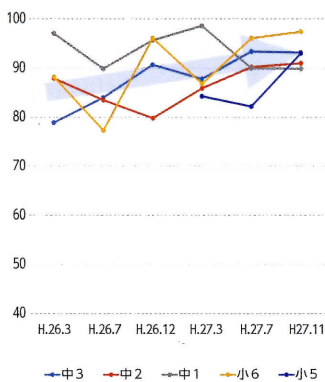


エ 授業がよく分かる

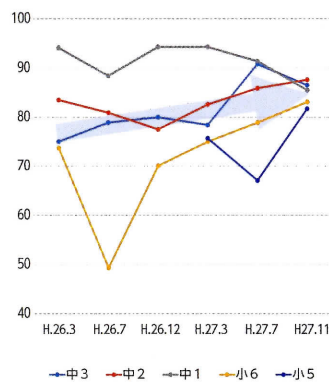


## ○「全くなかった」と回答した児童生徒の割合の推移

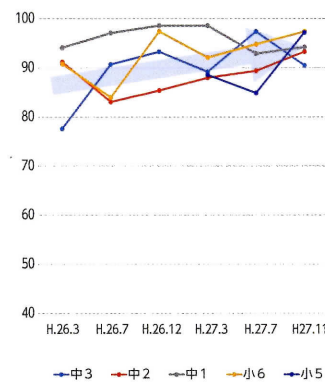
オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした



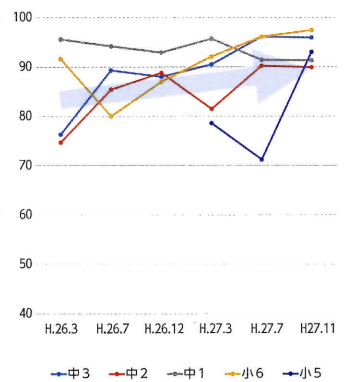
カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、いやな思いをさせられたりした



キ 叩いたり、けったり強く押したりした



ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、いやな思いをさせた



### 研究の 成果と課題

- 嫌がらせやいじめを行う児童生徒の減少
  - 授業に主体的に取り組んでいる児童生徒の増加
  - 授業がよく分かる児童生徒の増加
  - 新規の不登校発生数の減少 (H.24: 2名 H.25: 3名 H.26: 1名 H.27: 1名)
  - 中学校入学後も学校生活に対する意欲を持続させ、将来の希望や小学校と変わらない安心感をもたせる取組を更に進めることが必要である。
  - 成果の出ている学級や学年の実践を広め、継承することが必要である。
  - 学習指導、特別活動における「東雲スタイル」の確立が必要である。
- } 自己有用感・自尊感情が育ってきている。